

平成 26 年度 岐阜工業高等専門学校シラバス					
教科目名	地域都市計画	担当教員	小島正和 (非常勤), 宮城俊彦 (非常勤)		
学年学科	5 年 環境都市工学科	前期	選択	1 単位(学修)	
学習・教育目標	(D-2・社会技術系) 100%		JABEE 基準 1 (1): (d)		
<b>授業の目標と期待される効果:</b> 都市計画全般の基礎を 4 年「都市工学」で学習した。本授業はその内容についてさらに掘り下げたものである。前半は現在の都市が抱える課題を習得する。後半は事業評価の発展的内容を修得する。具体的な目標は以下のとおりである。 ①地区計画の手法と実際の理解 ②都市環境計画・都市防災計画の手法と実際の理解 ③都市開発, 再開発計画, 都市再生の手法と実際の理解 ④事業評価の手法の理解		<b>成績評価の方法:</b> 総点数 200 点 = 学習状況 (小テスト, 課題提出等) 100 点 + 期末試験 100 点とし, 総得点率 (%) で成績評価を行う。なお, 成績評価に教室外学修の内容は含まれる。 <b>達成度評価の基準:</b> 国家公務員採用一般職試験 (大卒程度・土木), および技術士第一次試験と同レベルの問題を試験で出題し, 6 割以上の正答レベルまで達していること。下記①~④の成績評価への重みは均等である。 ①地区計画についてはほぼ正確に (6 割以上) 説明できる ②都市環境計画・都市防災計画についてはほぼ正確に (6 割以上) 説明できる ③都市開発, 再開発計画, 都市再生についてはほぼ正確に (6 割以上) 説明できる ④事業評価 (産業連関分析等) に関する計算問題についてはほぼ正確に (6 割以上) 解くことができる			
授業の進め方とアドバイス: 授業は教科書, 板書, パソコン, 配布プリントを組み合わせる。板書を書き写すノートを作成すること。なお, 授業は主に情報処理センターで行い, 事例検索, 事業評価の演習時にはパソコンを活用する。その他, 平行して行う教科目「交通工学」との関連について意識することが当該科目の理解を深める上で望ましい。					
教科書: 都市計画(第 3 版) (樗木 武著, 森北出版, 2012) 参考書: 公共政策のための政策評価手法 (伊多波 良雄著, 中央経済社, 2009)					
授業の概要と予定: 前期			教室外学修		
第 1 回: 地区計画 (地区計画の方策と手法, 事例の紹介)	自分の住む街や知っている街について, 地区計画の実例および効果をまとめる				
第 2 回: 緑地・公園・都市景観・都市デザイン (緑地・公園の意義・種類・計画手法, および都市景観・都市デザインの設計手法)	自分の住む街や知っている街の都市公園・緑地計画について, その概要, 利用状況, 課題, および改善方をまとめる				
第 3 回: 総合計画と都市計画の関係, 都市計画という言葉に包括される空間機能, 空間設計, 実現方策としての規制や事業, 評価, 合意形成等の概念の事例	テキストが左記分類の何に言及しているかを把握し都市計画への理解を深める				
第 4 回: 都市の防災や環境の視点からの都市計画の事例 (減災と多重防災システム, 環境影響評価)	防災や環境の都市づくりについて事例をまとめる。環境影響評価の事例を調べる				
第 5 回: 市街地開発計画 (市街地開発計画における各種整備手法の要点, 事例の紹介)	道路位置指定, 開発許可, 土地区画整理事業, 市街地再開発事業の事例収集				
第 6 回: 都市再生と多様な実現手法の適用 (新たな目的, 地域地区, 施設整備事業, 面整備事業等の複合, 制度の弾力的運用, 社会政策等との連携の要点, 事例の紹介)	自分の住む街や知っている街の, 都市再生の具体事例についてまとめる				
第 7 回: 都市計画の最近の話題 (住民参加と合意形成, これからの都市計画)	具体的事例を挙げ住民参加と合意形成に関する作成手順を検証する				
第 8 回: 事業評価① 事業評価の目的と分類	公共事業評価の目的および効果の分類				
第 9 回: 事業評価② 主な評価手法	費用便益分析およびその他手法の位置づけ				
第 10 回: 事業評価③ (産業連関分析の概要)	産業連関表の構造について理解する				
第 11 回: 事業評価④ (産業連関分析における波及効果の考え方)	生産誘発効果, 雇用創出効果等を理解する				
第 12 回: 事業評価⑤ (産業連関分析の波及効果: その 1)	第 1 次波及効果 (移輸入を考えないケース) に関する演習				
第 13 回: 事業評価⑥ (産業連関分析の波及効果: その 2)	第 1 次波及効果 (移輸入を考えるケース), 第 2 次波及効果に関する演習				
第 14 回: 事業評価⑦ (産業連関分析の算出 1: 分析対象地域と評価項目の選定)	分析対象とする自治体等の産業連関表をインターネットより入手する				
第 15 回: 事業評価⑧ (産業連関分析の算出 2: 経済波及効果の算出)	部門統合表を作成後に経済波及効果を算出して考察する				
期末試験			-		
第 16 回: フォローアップ (期末試験答案返却, 解説など)	-				